



区分		H21実績	H22実績	H23実績	H24当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名	—	—	—	—	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費	311	253	257			
	(3)運営日数	240	241	245	245		
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	
		②臨時職員	1.0	1.0	1.0	1.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	3,113,586	3,369,611	3,357,966	6,097,000	
	②印刷費	130,153	107,919	59,221	60,000	
	③通信費	92,432	75,253	95,215	95,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	354,942	564,697	333,703	387,000	
	⑤借上料	439,740	69,174	47,754	432,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	91,480	86,970	75,850	88,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	508,296	529,196	542,798	893,000	
	計	4,730,629	4,802,820	4,512,507	8,052,000	
	対前年度増減率		1.5	△ 6.0	78.4	
区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	1,009,235	955,995	955,995	994,000	
	浄化槽保守点検業務	352,800	352,800	352,800	353,000	
	清掃業務	309,410	322,320	322,320	357,000	
	空調機器保守点検業務	294,000	227,850	227,850	230,000	
	ヘルストロン保守点検業務	53,025	53,025	53,025	54,000	

区分		H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	299,259	522,288	340,431	280,000	
	③光熱水費	106,659	122,795	134,282	128,000	
	④燃料費	—	—	—	—	
	⑤清掃費	—	—	—	—	
	⑥保守点検費	15,000	15,000	15,000	15,000	
	⑦その他(施設消耗品)	—	—	—	—	
	計	1,430,153	1,616,078	1,445,708	1,417,000	
	対前年度増減率		13.0	△ 10.5	△ 2.0	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		6,160,782	6,418,898	5,958,215	9,469,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		76.8	74.8	75.7	85.0	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する		4,350	3,180	7,890		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合		0.1	0.1	0.2		

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設使用料収入	4,350	3,180	7,890	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	6,160,782	6,418,898	5,952,715	
a)-b)	△ 6,156,432	△ 6,415,718	△ 5,944,825	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H21決算額	H22決算額	H23決算額	備考
a) 施設利用料金収入				
b) 指定管理料				
c) 指定事業収入				
d) 自主事業収入				
e) その他収入				
合計	0	0	0	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H23年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	老人福祉法に基づく老人福祉センターとしての設置目的を十分に理解し適正な管理運営が行われている。高齢者に対する健康増進・教養向上・レクリエーション事業として、自主クラブ、老人クラブの活動支援や、健康づくり教室を開催し、生きがいを感じられる場を数多く提供している。	利用者とのコミュニケーションを積極的に図ることにより、ニーズを把握し、自主クラブの開催日の増加を図り、大須賀地区の高齢者の活動拠点・憩いの場としての役割を担っている。今後も、継続して事業の改善を行い、サービス向上、利用者の増加を図っていく。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	利用者の推移は、前年比93%で1,412人減少している。指定管理者は利用者が気持よく利用するための環境美化や明るい雰囲気づくりに努めている。利用者満足度調査によると、清掃、スタッフの対応といった項目で、利用者の満足度は非常に高い水準を示しており、施設の老朽化への不満を補っている。	利用者満足度調査によると、利用者は70代から80代が70%を占めている。また利用回数については4回以上のリピーターが83%を占めている状況である。今後は、実施事業の魅力向上や新しい事業の検討を行い、事業実施に関する利用者満足度を高めることで、クチコミ等による新規利用者を取り込んでいく。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか  ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。	指定管理料を増額させることなく、利用者の満足を得られる施設運営を行っている。指定管理者である社会福祉協議会は、本業務とは別に市から高齢者の生きがいと健康づくり教室の開催を受託しており、施設管理職員が兼務で業務にあたることができ、効率的な事業運営だけでなく、人件費の面からも効率化が図られている。また、併設の児童館との合同開催事業を企画し、世代間交流を図っている。	今後も効率的な運営に努めるとともに、利用者アンケート等による利用者のニーズやウォンツを把握し、事業展開を図る。高齢者人口は増加していることから利用者の増加は見込むことができるため、老人クラブや生きがい事業との連携により効果的な事業を検討する。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	高齢者人口が増加していくなかで、老人福祉センターの必要性は高まっていく。利用者満足度調査からもニーズを把握したサービス提供がされている。また市内には老人福祉センターが2か所設置(大東・大須賀地区)されているが、それぞれの地区の老人クラブ支部活動拠点としての位置づけや、高齢者の交通手段と移動距離から考えても統廃合は難しい。	新規利用者を確保するため、生きがい事業参加促進のための事業PRや、クラブ活動のPRを積極的に行い、地域の高齢者が健康で明るい生活を営めるよう、同世代の仲間づくりの場として趣味や教養の向上、親睦の機会の提供を通じて高齢者の社会参加を支援していく。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	施設の老朽化	修繕箇所の把握と優先度により計画的な改修を行う。また、老朽化が利用者の満足度低下に繋がらないよう、常日頃の環境美化に努める。

5 その他自由意見